



古中だより『坂道』

(校長室だより)

HP 検索キーワード「古殿中 古殿町教育ポータル」
Tel 0247-53-3135 Fax 0247-53-3136

令和元年度 第12号

11月25日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 相樂 正弘

～中学生議会～



町をより良くするために!!

町役場3階議場で古殿町中学生議会が開催されました。3年生は、社会や総合的な学習の時間を使って、古殿町をより良くするにはどうすればよいかを班毎にしっかりと考え、計10本の質問をしま

した。町長さんからそれぞれの質問に対して、議会の本番と同じ形で答弁をいただきました。厳粛な雰囲気の中で緊張気味の生徒たちでしたが、ふるさと「古殿町」の発展のための施策を堂々と質問することができました。

終わってからの反省会で、町長さんより中学生の「町をより良くしたい」という強い思いが伝わってきましたとお褒めの言葉を頂きました。

～ふくしま駅伝～

白河市から福島市まで、全94.8km、16区間で競われる「ふくしま駅伝」が開催されました。天候に恵まれ、晴天の中、16名の選手



3区

13区

(内9名が中学生)がふるさとの襷をつなぎました。古殿町のチームは、中学生13名と高校生1名、社会人9名で編成されています。古殿中学校の生徒は、9名が選手として、4名がサポーターとして

貢献しました。選手として出場した生徒は、練習の成果を発揮し、悔いのない走りを行うことができました。

帰町後の「解団式」において、高校生になっても古殿町のために走りたくてと抱負を述べる生徒もおり、これからが楽しみです。

【成績】

- 総合37位 5:50'11"
- 町の部24位



～地区中学校弁論大会～



東日本大震災を通して

石川中学校にて第59回石川地区中学校弁論大会が開催されました。本校より、3年生の瀬谷光瑠君が出演し『東日本大震災を通して』という演題で堂々と発表しました。

震災当時、瀬谷君は6才の園児でした。震災から8年が経過しましたが、瀬谷君の発表により、弁論大会の会場全体にあの時の記憶がよみがえってきました。瀬谷君は震災当時、静岡県の親戚の家に避難をしていました。古殿町に戻る途中でのつらい経験から学んだことは、瀬谷君の心の太い柱になったに違いありません。「想定外」という言葉が頻繁に使われるようになったのは、東日本大震災からではなかったかと思えます。「わすれない」でも「わすれてはいけない」ことがあります。私たちは、それぞれの立場で、その時の教訓・体験を次の世代につないでいかなければならないことを考えさせられました。(裏面に原稿を載せましたのでご覧ください)

～文武両道の活躍～

全校集会において、各種大会・コンクールの表彰を行いました。

○石川地区読書感想文コンクール

- ・推薦 佐藤 志保さん(県コンクール佳作)
- ・特選 野崎 恵来君、有賀 花梨さん
- ・入選 9名

○火災予防絵画・ポスターコンクール

- ・入選 小濱 一河君、佐々木璃玖君、半澤 玲愛さん

○石川地区中学校弁論大会

- ・奨励賞 瀬谷 光瑠君

○実用英語検定試験

- ・準2級合格 菅井あゆりさん、国井 優奈さん
- ・3級合格 13名
- ・4級合格 1名
- ・5級合格 2名

○県中学校新人ソフトボール大会 第3位

○U15バスケットボール県南大会(女子) 第3位(県大会出場)

【子育て教室の開催】

古殿町健康管理センター保健師の方々を講師としてお迎えし、次の2つのことをねらいとし、2年生を対象とした『子育て教室』を開催しました。

- ① 妊婦体験ジャケットを着用したり、赤ちゃん人形を抱っこしたりするという体験をとおして、妊娠中の女性の大変さや赤ちゃんの命の重みについて知る。
- ② 自分たちも、家族から大切に育てられてきたことを自覚し、自分や自分以外の人たちの命を大切にしようという心を養う。
温かな眼差しで赤ちゃんの模型を見つめ、やさしく手をさしのべている子ども達の姿が印象的でした。

